

記入例

◎提出場所 現在児童生徒が就学している学校の学校長
(中学生、小学生、小学校就学予定者等のお子さんがある場合には、
最も年長者が就学する学校の学校長宛に提出してください)
◎提出期限 1月31日(金)厳守

教委書式第31号(日本工業規格A4縦型)
要保護及び準要保護児童生徒に対する就学援助費支給に関する規則別記様式第1号(第6条関係)

新規認定
要保護及び準要保護児童生徒に係る 継続認定 申請書 兼 審査票
認定替
認定の取消

新規認定・継続認定
どちらかを○で囲む

申請日 令和 7年 月 日

下 仁 田 町 教 育 委 員 会 様
申 請 者 (住 所) 下仁田町大字下仁田〇〇〇 番地
(保護者) (氏 名) 下仁田 一郎

を 認 定
下記の者 していただきたいので
の認定取消

申請日、申請者(保護者)の住所・氏名を記入する。
住所は棟番号・部屋番号まで記入する。押印は不要。

記
① 認定を希望(取消)する児童生徒の氏名等

所属(予定)学校名	学 年	組	ふ り が な 児 童 生 徒 氏 名	保護者から見た 続 柄	生 年 月 日	備 考
下仁田小学校	3		下仁田 次子	長女	平成 年 1 2 月 2 4 日	
下仁田中学校	1		下仁田 太郎	長男	平成 年 5 月 2 7 日	
学校名・学年等は、令和7年4月時点を記入 小学生、中学生、今年小学校就学予定のお子さんを 記入してください。 保育園、高校生については記入しないでください。						

審査認定欄(以下の欄には、記入しないでください。)

学校記入	経 由 年 月 日	記入しないでください。				
受付調査	受 付 年 月 日 家 族 状 況 該 当 項 目					
審査決定	係 係 長					

要保護及び準要保護児童生徒に対する就学援助費支給に関する規則別記様式第4号（第6条関係）

令和7年 月 日

③ 認定申請（取消）をする主な理由

以上のように生活はかなり困窮しているので認定してもらいたい。

本人から見た 続柄	生年月日	職業（学校名・学年）	氏名	特記事項 （年齢・障害等）
父	昭56年8月2日	無職	下仁田 一郎	障害者認定1級
母	昭57年3月1日	パート	下仁田 花子	
長男	平24年5月27日	下仁田中学校1年	下仁田 太郎	
長女	平28年12月24日	下仁田小学校3年	下仁田 次子	
祖母	昭26年7月7日	無職	下仁田 たね	

学校名・学年等は、令和7年4月時点を入力

保護者・本人（認定を希望する児童・生徒）を含む世帯全員について記入をお願いします。

その他特記事項があったら記入

保護者氏名

保護者の住所・氏名記入

1. 関係機関等の証明事項（○印のある条項が証明事項）

被 証 明 者 住 所 下仁田町大字
 （ 申 請 者 ） 氏 名 番 地

区分	条 項	被 証 明 事 項	証明者職氏名	印	証明年月日
要	12条	生活保護法の生活扶助	記入しないでください。		
準	13条1項2号	町民税が非課税又は均等割のみの課税			
	13〃1〃3〃	町民税の減免			
	13〃1〃4〃	国民年金保険料の免除			
	13〃1〃5〃	国民健康保険料の減免			
	13〃1〃5〃	国民健康保険料の徴収猶予			
	13〃1〃7〃	固定資産税の減免			
	13条2項1号	生活福祉資金の貸付			
	13条2項2号	求職申し込み			
	13条2項3号	学校納付金の減免			
	13条1項1号	生活保護法の生活扶助廃止			
	13〃1〃1〃	生活保護法の生活扶助停止			
	13〃1〃6〃	児童扶養手当の支給			
	13〃2〃4〃	母子寡婦福祉資金の貸付			

2. 学校長の意見

認定会議の結果を受けて学校長として認定又は取消を認めるかを決定します。
 （学校長から教育委員会に提出されます）

申請者は、_____であり
 要 保 護 認 定
 児童生徒として _____ していただくことが適当と認めます。
 準要保護 取 消

年 月 日
 学校長 印

3. 地区民生委員の意見

認定会議での協議の中で、地区民生委員から認定に対する意見を聴取し記入します。

年 月 日
 地区民生委員 印